

令和 7 年 2 月から
福井新聞で連載中



R7.6.13(金)全戸配布
春山公民館福井学事業
—左内先生にまつわる話②—

「左内と権六」歴史作家 馬田昌保 氏 来館！ —作品を語り、自身をも語る「老いもまた楽し」—

日 時 令和 7 年 7/26(土)
10 時～12 時
場 所 春山公民館 2 階講堂
講 師 馬田昌保 氏(越前市在住)
ペンネーム「まだ、うまだ。」

著書 ・水仙は見ていた
・命令しあうざるも
・辛口、甘口、へうず口
・こどもはみている など

参加費
無料

先着
50 名

申込・問合せ先

春山公民館(福井市文京 3 丁目 11-12)

☎ 0776-22-0057

✉ haruya-k@mx1.fctv.ne.jp

公式 LINE(お申込の場合は、

「氏名」「申込講座名」を送ってください) ➡



※駐車場に限りがありますので、
出来る限り徒歩または自転車でお越しください

裏面に当日資料の一部を
紹介しています ✨

連載小説「左内と権六」について

幕末の福井藩士であり春山生誕の地である
「橋本左内先生」を中心とした歴史小説。
「佐々木権六」は左内先生の親友であり、物語の重要
人物である。物語は、左内先生の生き様や周囲の
人間関係に加え、親友の権六との何気ない日常の
ストーリーが書かれている。

主な登場人物

上司・友人

「横井小楠」 「西郷隆盛」

「佐々木権六」

(左内先生の古くからの親友)

「藤田東湖」

「笠原白翁」

「中根雪江」

橋本左内

主君

恩師

松平春嶽

「吉田東篁」

「緒方洪庵」

「杉田成卿」

き り と り

令和 7 年 7 月 26 日(土)「左内と権六」歴史作家 馬田昌保氏 講演会 申込書

氏名	年齢	代	連絡先
住所	駐車場の利用 あり ・ なし		
備考			

馬田昌保 氏 し・ミゼラブル

～60 年も経ったんやで、仕方ないんにや。～

18 歳

と

81 歳

願いましては 18+81 は…パチパチ

願いますのは、ピンピンコロリ

こき くるくる くれこい

古希 来る来る 米寿よ来い

日曜日が わけむねえ うれしかった

毎日が日曜日やで、うれしくもなんとも

165 センチ 68 センチ 52 キロ

158 センチ 82 センチ 62 キロ

髪型が気になった

気にする髪が無い

オシッコが飛び散った

チビル、モレル、頻尿

ニキビがブツブツ

シミ シワがうじゃうじゃ

神も仏もないのかと恨んだ

その神仏だけが頼り

道路を暴走した

道路を逆走する

四苦八苦だった、試験勉強は

四面楚歌です、妻にも子にも孫にも

馬田昌保氏が書いた作品です。

これらの文書は、ほんの一部です。

当日は、もっとたくさんの面白い言葉を見て、聞いて、
感じるができます！

一人でも多くのご参加をお待ちしております！

